

※1:「メンテナンス・エキスパート」構造物等の維持管理に関する高度な知識を持ち、劣化状態等を的確に診断し対処できる技術者を意味する。
 ※2:「メンテナンス・マネージャー」構造物等の維持・修繕に関する日常的管理や、保全計画の策定等ができる技術者を意味する。

	ME技術者	マネジメント技術者
<p>ふくしまMEが目指すレベルの既存資格</p>	<p>①技術士「建設部門」「応用理学部門」(地質) ②上級土木技術者 ③RCCM ④民間資格のうち施設の診断分野で国登録を受けている資格 ※代表例:橋梁(診断) ・コンクリート診断士 ・土木鋼構造診断士 ・一級構造物診断士 ・コンクリート構造診断士 ・他県ME など</p>	<p>あり方を踏まえ、要検討</p> <p>①技術士「総合技術監理部門」</p>
<p>MEコースのカリキュラムの設定により詳細を検討</p>		

※1:表中に記載している既存資格のレベルを、ふくしまMEが目指すことを想定している。

※2:既存資格取得者と同様に、ME技術者等も活用していくことを想定している。

NO	資格名	実施団体	国登録									
			点検			診断		計画・調査・設計				
			橋梁 (鋼橋) 担当技術者	橋梁 (コンクリート橋) 担当技術者	トンネル 担当技術者	橋梁 (鋼橋) 担当技術者	橋梁 (コンクリート橋) 担当技術者	トンネル 担当技術者	橋梁 管理技術者 照査技術者	トンネル 管理技術者 照査技術者		
1	特別上級土木技術者	土木学会技術推進機構										
2	上級土木技術者	土木学会技術推進機構	○ 橋梁 コースB 鋼・コンクリート コースA・B	○ 橋梁 コースB 鋼・コンクリート コースA・B	○ トンネル・地下 コースB	○ 橋梁 コースB 鋼・コンクリート コースA・B	○ 橋梁 コースB 鋼・コンクリート コースA・B	○ トンネル・地下 コースB	○ 橋梁 コースB	○ トンネル・地下 コースB		
3	1級土木技術者	土木学会技術推進機構	○ 橋梁 コースB 鋼・コンクリート コースA	○ 橋梁 コースB 鋼・コンクリート コースA	○ トンネル・地下 コースB							
4	RCCM	(一社)建設コンサルタンツ協会	○ 鋼構造及びコンクリート	○ 鋼構造及びコンクリート	○ トンネル	○ 鋼構造及びコンクリート	○ 鋼構造及びコンクリート	○ トンネル	○ 鋼構造及びコンクリート	○ トンネル		
5	コンクリート診断士	(公社)日本コンクリート工学会	○	○	○	○	○	○				
6	道路橋点検士	(一財)橋梁調査会	○	○								
7	道路橋点検士補	(一財)橋梁調査会	○	○								
8	土木鋼構造診断士	(一社)日本鋼構造協会	○			○						
9	土木鋼構造診断士補	(一社)日本鋼構造協会	○									
10	1級構造物診断士	(一社)日本構造物診断技術協会	○	○		○	○					
11	2級構造物診断士	(一社)日本構造物診断技術協会	○	○								
12	コンクリート構造診断士	(公社)プレストレストコンクリート工学会		○	○		○	○				
13	ME新潟(構造)	インフラ再生技術者育成新潟地域協議会										
14	ME新潟(防災)	インフラ再生技術者育成新潟地域協議会										
15	仮称:ME新潟(構造)(防災) ※認定試験のみ	インフラ再生技術者育成新潟地域協議会										
16	岐阜ME	岐阜大学大学院工学研究科	○	○	○	○	○	○				
17	道守補	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	○	○	○							
18	特定道守 (コンクリート構造と鋼構造 の2コース)	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	○	○	○	○ 鋼構造	○ コンクリート構造					
19	道守	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	○	○	○	○	○					
20	橋梁点検士	名古屋大学工学研究科土木工学専攻 橋梁長寿命化推進室	○	○								
21	橋梁診断士	名古屋大学工学研究科土木工学専攻 橋梁長寿命化推進室				○	○					
22	四国ME	愛媛大学大学院理工学研究科 愛媛大学防災情報研究センター	○	○	○	○	○	○				
23	ME山口	山口大学工学部社会建設工学科	○	○	○	○	○	○				

※1 ○の下に○○コースや名称があるものは、資格が分野に分かれており、国登録資格となっているものが、記載している名称の分野のみ

※2 :「ふくしまME」が目指す資格レベル【上表、赤の囲みと同等レベルの技術力を習得】

※3 本表は主に橋梁関係の既存資格及び他県MEの一部について整理したものである。

- : 実務経験のみによる受講要件
- : 維持管理に有意な既存資格取得者の受講要件

ME(基礎)技術者

基礎コース受講
認定試験

実務経験
2年以上

(A)
基礎コース認定
+
・官公庁等土木技術者のうち、社会資本の維持管理業務、または、設計・計画、監督業務を3年以上経験している者
・民間建設関連業土木技術者のうち、社会資本の点検・調査、新設・補修・補強に関わる設計・施工管理業務を主体的な立場で3年以上経験している者(※主体的な立場:委託業務は担当技術者、施工管理業務は現場代理人などとする。)

(B)
下記資格等を有する者
・技術士「建設部門」、「応用理学部門(地質)」
・国登録民間資格(他県ME含む)の点検での登録を受けている資格

ME技術者

MEコース受講
認定試験

基礎コース(必須科目)
+MEコース受講
認定試験

マネジメント技術者

MMRコース受講
認定試験

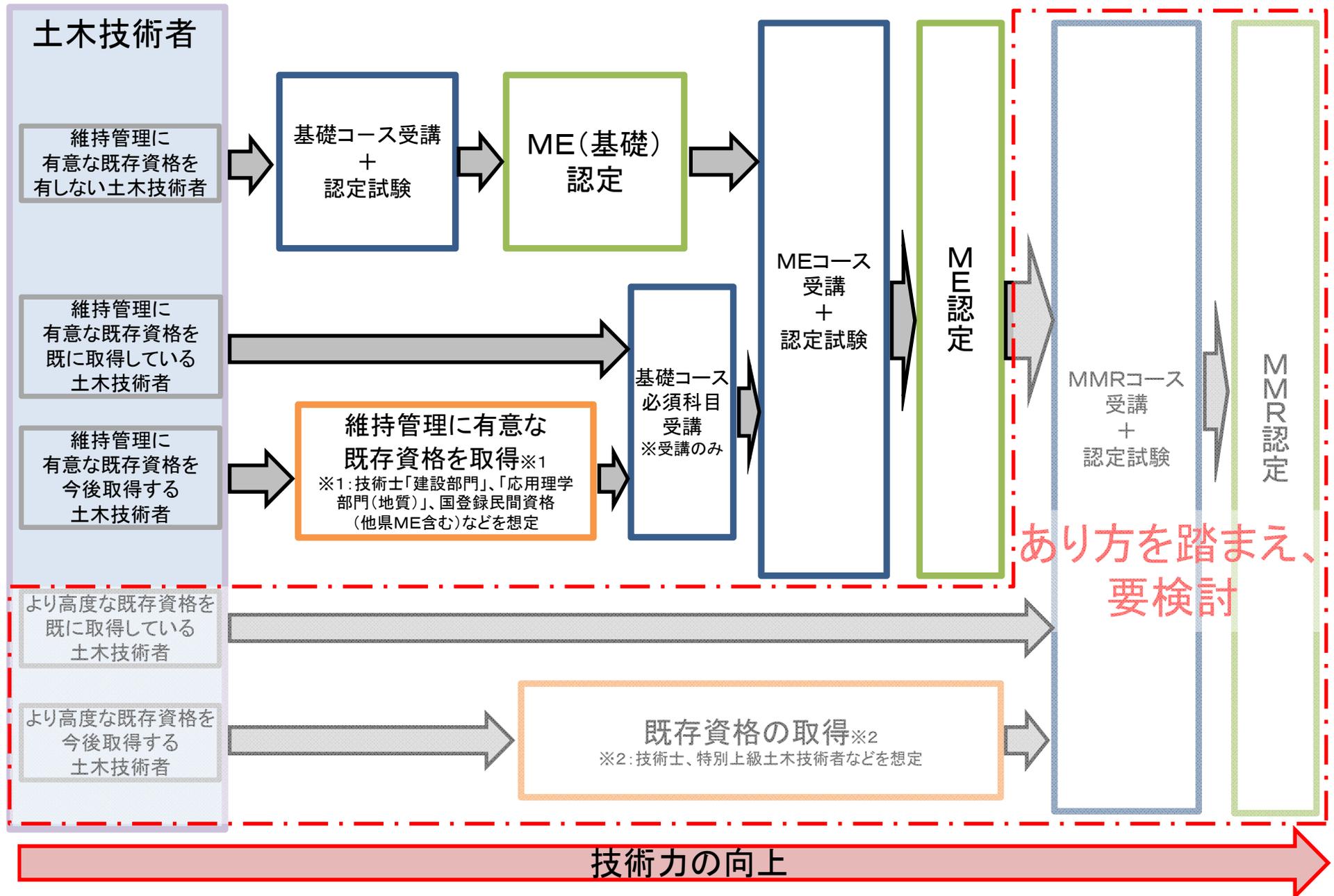
あり方を踏まえ、要検討

MEコース認定
+
実務経験

下記資格を有する者
・技術士
・特別上級土木技術者

ME技術者の育成フロー図(案)

資料7-5



既存資格の受験要件等一覧(平成29年11月末時点)

■:要件のうち、実務要件もしくは資格要件のどちらか片方を満たせば良いもの

■:国家資格、■:橋梁(鋼橋またはコンクリート橋)の診断の国登録を受けていない資格

□:「ふくしまME」が目指す資格レベル【下表、赤の囲みと同等レベルの技術力を習得】

本表は主に橋梁関係の既存資格及び他県MEの一部について整理したものである。

資料7-6

NO +A20	資格名	実施団体	受験・受講資格				受講料	受験料	登録料	カリキュラム時間
			受講資格 ※講習会等の修了が受験要件となっているもののみ		受験資格					
			実務要件	所有資格要件	実務要件	所有資格要件				
1	特別上級土木技術者	土木学会技術推進機構	-	-	-	17年以上の実務経験を有する者 原則として上級土木技術者資格を有している者	-	32,400	32,400	-
2	上級土木技術者	土木学会技術推進機構	-	-	12年以上の実務経験を有する者 業務経験のうち、責任ある立場で5年以上の経験年数を有していることが必要	-	-	21,600	22,680	-
3	1級土木技術者	土木学会技術推進機構	-	-	7年以上の実務経験を有する者 業務経験のうち、責任ある立場で3年以上の経験年数を有していることが必要	-	-	18,360	17,280	-
4	RCCM	(一社)建設コンサルタンツ協会	-	-	大学卒業者は、10年以上の実務経験を有する者	-	-	17,010	22,680	-
5	コンクリート診断士	(公社)日本コンクリート工学会	-	-	大学を卒業し、コンクリート技術関係業務を4年以上有する者	以下の資格を有する者 コンクリート主任技師、コンクリート技師、一級建築士、技術士(建設部門)、技術士(農業部門-農業土木)、土木技術者(特別上級、上級、1級)、RCCM(鋼構造及びコンクリート)、コンクリート構造診断士、1級土木施工管理技師、1級建築施工管理技師	8,640	10,800	6,700	1日間
6	道路橋点検士	(一財)橋梁調査会	大学の指定学科の卒業者は、3年以上の実務経験を有する者(指定学科以外は、5年以上の実務経験)	-	研究会修了証を交付され、いずれかの業務実績を有する者 ①民間技術者でH16以降に道路橋の定期点検または診断に関して1年以上 ②道路管理者でH16以降既設道路橋の点検・診断を含む維持管理に関して2年以上	-	50,000	左記を含む	5,000	3日間
7	道路橋点検士補	(一財)橋梁調査会	大学の指定学科の卒業者は、3年以上の実務経験を有する者(指定学科以外は、5年以上の実務経験)	-	-	-	50,000	左記を含む	3,000	3日間
8	土木鋼構造診断士	(一社)日本鋼構造協会	-	-	以下のいずれかの要件を満たす講習会受講者 ①大学の指定学科の卒業者は、7年以上の実務経験を有する者(指定学科以外は、8年以上の実務経験) ②土木鋼構造診断士補資格取得者は登録後3年以上の者 ③技術士(建設部門)に登録し1年以上の者	-	21,600	10,800	6,696	2日間
9	土木鋼構造診断士補	(一社)日本鋼構造協会	-	-	大学の指定学科の卒業者は、1年以上の実務経験を有する者(指定学科以外は、2年以上の実務経験)	-	21,600	6,696	6,696	2日間
10	1級構造物診断士	(一社)日本構造物診断技術協会	-	-	大学の指定学科の卒業者は、4年以上の実務経験を有する者(指定学科以外は、5年以上の実務経験)	以下の資格を有する者 技術士、コンクリート診断士、土木鋼構造診断士、コンクリート構造診断士、1級建築士、二級構造物診断士	-	-	-	-
11	2級構造物診断士	(一社)日本構造物診断技術協会	-	-	大学の指定学科の卒業者は、2年以上の実務経験を有する者(指定学科以外は、3年以上の実務経験)	以下の資格を有する者 技術士、コンクリート診断士、土木鋼構造診断士、コンクリート構造診断士、1級建築士、コンクリート主任技師、コンクリート技師、1級土木施工管理技師	-	-	-	-
12	コンクリート構造診断士	(公社)プレストレストコンクリート工学会	大学の指定学科の卒業者は、4年以上の実務経験を有する者	以下の資格を有する者 技術士(建設部門)、1級建築士、博士号またはPhD、特別上級土木技術者、PC技師、コンクリート主任技師、コンクリート診断士、一級土木・建築施工管理技師	-	講習会修了が受験要件	16,200	10,800	16,200	1日間
13	ME新潟(構造)	インフラ再生技術者育成新潟地域協議会	土木に関する高等教育機関を修了し、3年以上の実務経験を有する者 5年以上の実務経験を有する者	2級土木施工管理技師資格保有者、又は同等の者	-	講習会修了が受験要件	無料	無料	無料	33時間
14	ME新潟(防災)	インフラ再生技術者育成新潟地域協議会	ME新潟(構造)コースを受講した者	-	-	講習会修了が受験要件	無料	無料	無料	24時間20分
15	仮称:ME新潟(構造)(防災) ※認定試験のみ	インフラ再生技術者育成新潟地域協議会	-	-	1年以上のインフラ施設の維持・管理・メンテナンス業務経験を有する技術者	-	-	無料	無料	-
16	岐阜ME	岐阜大学大学院工学研究科	大学卒業後以下の業務経験を有する者 ①官公庁等土木技術者のうち、社会資本の維持業務を2年以上経験している者、またはそれと同等と認める者 ②建設業界技術者のうち、社会資本の点検・調査、構造物の新設・補修・補強に関する設計・施工管理業務を主体的な立場で実施した経験を3年以上有する者	-	-	講習会修了が受験要件	250,000	10,000	無料	120時間

NO +A20	資格名	実施団体	受験・受講資格				受講料	受験料	登録料	カリキュラム時間
			受講資格 ※講習会等の修了が受験要件となっているもののみ		受験資格					
			実務要件	所有資格要件	実務要件	所有資格要件				
17	道守補	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	自治体・建設業・建設コンサルタント業に従事している土木技術者及びそのOB	-	-	講習会修了が受験要件	無料	無料	無料	37時間
18	特定道守 (コンクリート構造と鋼構造 の2コース)	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	-	以下の要件を両方満たす者 ①道守補コースに合格している認定者 ②一級・二級土木施工管理技士、技術士補、RCCMのいずれかの資格を有し、自治体・建設業・建設コンサルタント業に従事している土木技術者及びそのOB	-	講習会修了が受験要件	無料	無料	無料	49時間(1コース) 76時間(2コース)
19	道守	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	-	特定道守のコンクリート構造及び鋼構造の両方の認定者	-	講習会修了が受験要件	無料	無料	無料	20時間
20	橋梁点検士 ※コース名:検査点検コース	名古屋大学工学研究科土木工 学専攻橋梁長寿命化推進室	橋梁に関わる実務経験を2年以上有する者	技術士補(建設部門)、技術士(建設部門)、土木技術者(特別上級、上級、一級)、土木鋼構造診断士、コンクリート診断士、RCCM、道路橋点検士、岐阜ME	-	講習会修了が受験要件	25,000	10,000		3日間
21	橋梁診断士 ※コース名:診断評価コース	名古屋大学工学研究科土木工 学専攻橋梁長寿命化推進室	検査点検コース修了証取得後、橋梁保全業務に関わる実務経験を2年以上有する者	技術士(建設部門)、土木技術者(特別上級、上級、一級)、土木鋼構造診断士、コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、RCCM、岐阜ME	-	講習会修了が受験要件	20,000	25,000		2日間
22	四国ME	愛媛大学大学院理工学研究科 愛媛大学防災情報研究センター	大学卒業後以下の業務経験を有する者 ①官公庁等土木技術者のうち、社会基盤の維持業務を3年以上経験している者、またはそれと同等と認める者 ②建設業界技術者のうち、社会資本の点検・調査、構造物の新設・補修・補強に関する設計・施工管理業務を実施した経験を3年以上有する者	-	-	講習会修了が受験要件	無料	無料		121.5時間
23	ME山口	山口大学工学部社会建設工学科	以下の両方の要件を満たす者 ①社会基盤整備に関する実務経験を有すること ②建設業、建設コンサルタント業に携わる土木技術者、又は、社会基盤の管理に携わる土木技術者	-	-	講習会修了が受験要件	無料	無料		42時間
24	技術士補	(公社)日本技術士会	-	-	※一次試験 制限なし	※一次試験 制限なし	-	11,000	21,500	-
25	技術士 ※総合技術監理部門以外	(公社)日本技術士会	-	-	-	※二次試験 技術士補の資格を有し、4年を超える実務経験を有する者	-	14,000	36,500	-
26	技術士「総合技術監理部門」	(公社)日本技術士会	-	-	-	※二次試験 技術士補の資格を有し、7年を超える実務経験を有する者	-	14,000	6,500	-
27	1級土木施工管理技士	(一財)全国建設研修センター	-	-	大学の指定学科の卒業者は、3年以上の実務経験(うち1年の指導監督的実務経験年数を含む)を有する者 ※指定学科以外は、4年半以上の実務経験	-	-	8,200		-

■来年度より開始するコースと対象とする施設

MEコース	対象施設	点検要領等(国)	想定される国登録民間資格	既存の資格(ME)	
ME防災	(内容)	地盤変状作用等により影響を受ける土構造物等を対象とする。			
	(項目)	道路土工構造物	道路土工構造物点検要領	—	—
		シェッド・大型カルバート	シェッド、大型カルバート等定期点検要領	—	—
		トンネル	道路トンネル定期点検要領	トンネル点検・診断	岐阜ME, 四国ME, 山口ME, 長崎道守 等
ME保全	(内容)	走行作用、環境作用により劣化が生じるコンクリート・鋼構造物等を対象とする。			
	(項目)	橋梁	道路橋定期点検要領	橋梁点検・診断	岐阜ME, 四国ME, 山口ME, 長崎道守 等
		横断歩道橋	横断歩道橋定期点検要領	—	—
		舗装	舗装点検要領	舗装点検・診断	—
		門型標識	門型標識等定期点検要領	—	—
		小規模附属物	小規模附属物点検要領	小規模附属物点検・診断	—

■今後、ME防災、ME保全に追加を検討していく施設(国や他県の動向やニーズを踏まえ判断)

分野	対象施設	点検要領等	想定される国登録民間資格	既存の資格(ME)	
河川等構造物	河川堤防	堤防等河川管理施設及び河道の点検要領	堤防・河道点検・診断	—	
	樋門・樋管	樋門等構造物周辺詳細点検要領	—	—	
	地すべり対策施設	砂防関係施設点検要領(案)	地すべり防止施設点検・診断	—	
	急傾斜地崩壊防止施設	砂防関係施設点検要領(案)	急傾斜地崩壊防止施設点検・診断	—	
	なだれ防護施設	—	—	—	
	砂防ダム	砂防関係施設点検要領(案)	砂防設備点検・診断	—	
	ダム	河川砂防技術基準維持管理編(ダム編)	—	—	
			※定期検査の実施者が国又は県職員であり、民間技術者の活用が難しい		
	港湾	港湾の施設の点検診断ガイドライン	港湾施設点検・診断	—	
			※対象施設が少ないため対応を検討する必要あり		
上下水道	海岸保全施設	海岸保全施設維持管理マニュアル	海岸堤防等点検・診断	—	
	上水道	—	—	—	
	下水道	下水道維持管理指針	下水道管理施設の点検・診断	—	
建築物	公営住宅・庁舎	平成20年国交省告示第282号、第1350号	—	—	
				※一級・二級建築士等の点検が義務付けられており、有資格者による独自の技術者育成方法を検討する必要あり	

●農林水産施設についても、今後対象に含めることを検討する。